

京極読書新聞 <第21号>

発行日 平成23年 3月 1日(火)
京極町生涯学習センター湧学館

仮校舎の一年間を振り返って 京極中学校 高瀬 志恵(たかせ・ゆきえ)



▲京極中学校 新校舎 建設中

（撮影日 上2枚 2010年11月18日
下1枚 2011年 2月10日）



京極読書新聞は
毎月1日発行です。

新校舎建設のために京極中学校は仮校舎での一年間となりました。公民館の裏をお借りしてのプレハブ校舎には図書室がありません。仮校舎のスペースの関係で中学校の蔵書は段ボールに詰め、一年間の倉庫保管。比較的最近購入した蔵書の中から厳選して仮校舎に持ってきました。想像していたより広がった廊下に本棚を一つ置き、国語辞典や伝記など生徒の手に届くようにしました。

しかし、幸いなことに今年の一年は本物の図書館を気軽に利用できるというメリットがありました。準備期間中から今後の活動につなげることができるよう連携を深める方向で活動をおこなってきました。

昨年は月200冊ほどの団体貸し出しをうけていましたが、湧学館の図書館司書の方に選書していただいていた。今年には本校の学芸委員の生徒が湧学館の書架から読みたい本を選び借りてくることにしました。6名の委員が10冊ずつじっくり選んで計六十冊、仮校舎の廊下に専用の机を置き、図書を並べました。

全く新しいとくみとして、この京極読書新聞で「中学生にインタビュー」という連載をしていただきました。ごらんになった方も多いと思います。昨年度の読書感想文コンクールの入選者を対象にしたインタビューをベースに、4本の記事を掲載していただきました。生徒にも保護者にもなかなか好評な企画でした。またこのような活動が活発に継続できればと考えています。



▲京極中学校 仮校舎 (撮影日 2011年2月22日)

2010年度 出前図書館

～ 京極小学校 編 ～

一年間をふりかえって

京極小学校 長谷川 奈穂子 (はせがわ・なほこ)

今年度で、二年目を迎える出前図書館です。

毎月一回木曜日の中休み・昼休みに、低学年用と高学年用に分けて実施していただいています。テーマにそった紙芝居では、どの子どもその世界に入り込み、イメージのスイッチを全開にして、聴き入っています。普段の図書室を異空間にする湧学館の方の語り口は、すばらしいものです。

児童会図書委員会の活動として、図書新聞を発行しているのですが、その中で出前図書館のお知らせを書くように取組みました。その月の出前図書館の期日、テーマ、紙芝居の内容、借りられる本を紹介しています。児童の活動を通して、豊かな本の世界をもっともっと知るようになれば…と思っています。



児童の活動を通して、豊かな本の世界をもっともっと知るようになれば…と思っています。

湧学館の職員の方には、出前図書館を開催するにあたり、計画と準備に多くの時間をかけていただいていることに、心より感謝申し上げます。京極小学校の子ども達が、将来にわたってずっと豊かな感性を育むためにも、これからもよろしくお願ひいたします。



2010.5.27



2010.10.28



2010.6.17

湧学館 向出 絵梨香(むこうで・えりか)

今年の出前図書館は、昨年と比べて実施回数が減ったものの、1回の貸出冊数はぐっと伸びました。きっと図書委員会さんで毎月作ってくださっている図書新聞のおかげですね。

「読みたい本・おすすめの本アンケート」は今年も好調で、集まったアンケートを見ながら毎月のテーマを考えています。『雑誌』や『少女マンガ』というような声にはなかなか応えられないのですが、『AKB48』が載った本はようやく用意できるようになりました！（「ギネス世界記録2011」に世界一人数の多いポップグループとして掲載されています）

来年度もリクエスト本をカバーしながら、新着本や埋もれがちなおすすめ本などとお出会う場として続けていきたいと思っています。

京小出前図書館 実施スケジュール (展示・貸出本テーマ一覧)

- 5/27(木) 「学校が出てくる本」
- 6/17(木) 「お笑いの本」
- 7/15(木) 「工作・こわい話の本」
- 8/26(木) 「魔法・ファンタジーの本」
- 9/16(木) 「食べもの・十五夜の本」
- 10/28(木) 「新しい本・人気のある本」
- 11/18(木) 「いぬの本」
- 1/27(木) 「宇宙・科学・節分の本」
- 2/10(木) 「ねこの本」
- 3/10(木) [実施予定]

2010年度 出前図書館

～ 南京極小学校 編 ～

一年間をふりかえって

南京極小学校 市川 淳子（いちかわ・じゅんこ）

「僕も似たような本を冬休みに作ったんです。見てもらえますか？」高学年の児童が、スタッフの方に声をかけていました。それは、1月の出前図書の後のことです。その日の出前図書では、仕掛け絵本、手作り本、スクラップブック、本の修理などについて紹介していただきました。中でも、大きな仕掛け絵本を紹介していただいた時には、子どもたちは、目をまん丸にしていました。だけど、高学年のその児童は、制作途中のスクラップブックを見せられた時に、一番、「ハッ」とした表情をしたのです。普段、自分から、大人に声をかけることのないその児童。出前図書で紹介されたスクラップブックと自分の作品が似ていたことが、嬉しくて、嬉しくて、声をかけずにいられなかったのでしょうか。それに応じて、スタッフの方は、児童

と一緒に作品を見ていただきました。こんな、ちょっとしたやりとりで、彼は、次の出前図書が一層楽しみになったことでしょう。

毎月1回の出前図書を南京小の児童10人は、心待ちにしています。毎月テーマを決めて選んで持ってきてくださる本。「あっ」と言う間に全部読んでしまって、「早く出前図書来ないかなあ。」なんて、つぶやいている子もいます。また、ブックトークも、大好きで、身を乗り出して、目を輝かせて聞いている子どもたち。南京小の子が、本好きになったのは、出前図書館の活動のおかげもあるのでしょうか。これからも、出前図書館の日をワクワクしながら待っています。



2011.2.17

湧学館 新谷 保人(あらや・やすひと)

宮沢賢治「風の又三郎」の冒頭「谷川の岸に小さな学校がありました」を思い起こさせる南京極小学校。私たちが毎月の出前図書館が楽しみです。来月は何のブックトークにしようかと考えることが、湧学館の日常業務の大事なアクセントになっています。出前図書館開始から二年。ブックトークも、「穴」の本、「宇宙人」の本、「歌がきこえてくる」本、「プレゼント」の本、「手紙」の本…と、どんどんその幅を広げて爆発中。来年も、もっともっとおもしろい本を探して行きましょうね！



2010.5.20



2010.6.24

南京小出前図書館 実施スケジュール（ブックトークテーマ一覧）

5/20(木) 「川」、「穴」の本	11/11(木) 「お医者さん」、「動物園」の本
6/24(木) 「くま」、「宇宙人」の本	12/16(木) 「なぞなぞ」の本、「本」のはなし①
7/22(木) 「歌がきこえる」、「夏休み」の本	1/20(木) 「手紙」の本、「本」のはなし②
9/ 7(木) 「料理」、「不思議」の本	2/17(木) 「ことばあそび」、「お金」の本
10/21(木) 「家」、「プレゼント」の本	3/17(木) [実施予定]

展示コーナー紹介

AVブース横の展示コーナーでは、月替わりで資料の展示を行っています。ここでは2010年度の展示テーマを振り返り、写真とともにご紹介します。



▲4月「おいしいパンをつくろう・たべよう」



▲1月「おすすめ工作の本」「お正月・うさぎの本」
「若い人に贈る読書のすすめ」「冬休み推薦図書」



▲7月「高校生はこれを読め！」



▲6月「北海道の本」

<2010年度 展示テーマ一覧>

- 4月「おいしいパンをつくろう・たべよう」
- 5月「スポーツ特集」
- 6月「北海道の本」
- 7月「高校生はこれを読め！」
- 8月「北海道青少年のための200冊」
- 9月「おじいちゃん・おばあちゃんが登場する絵本」
- 10月「有島武郎・木田金次郎」「秋の本」
- 11月「鉄道・バスの本」
- 12月「2010年受賞作」「クリスマス絵本」
- 1月「おすすめ工作の本」「お正月・うさぎ」など
- 2月「体があたたまるレシピ本」「チョコレート」

発行

京極町生涯学習センター湧学館
〒044-0101 京極町字京極158番地1
TEL 0136-42-2700(代表)
FAX 0136-42-2032
E-Mail yugakukan@town-kyogoku.jp



ホームページもご覧ください
<http://lib-kyogoku.cubet.com/>

